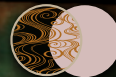


完全予約制

第2回 北近江歴史大学



京都・養源院障壁画をめぐって

— 宗達・本阿弥光悦・雁金屋尾形家 —

やすだ あつお
講師：安田篤生氏
 (愛知教育大学 特別教授)

令和4年(2022)

8月7日 日午後**1時30分**～**会場：湖北文化ホール**

長浜市湖北町速水 2745

受講料：500円(長浜城友の会会員は無料)

受講料は講演会当日、会場でお支払ください。

ご注意

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事前のお申し込みが必要です。聴講に際してはマスクの着用をお願いし、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。なお、本講座は、滋賀県および長浜市のガイドラインにのっとり、収容人数上限を設けていることから、別に客席の間隔確保等は行いませんので、あらかじめご了承ください。



● JR河毛駅下車 徒歩10分 駐車場あり



▲京都・養源院本堂(客殿)

北近江の戦国大名・浅井長政(1545-73)の菩提寺として知られる寺院が、養源院(京都市東山区三十三間堂廻り)です。養源院は、文禄3年(1594)に、浅井三姉妹の長女・淀殿(1569-1615)が、父・長政の追善のため建立し、その後、三姉妹の三女・江(崇源院、1573-1626)によって再興されています。

江戸時代、幕府からも厚い援助を受けた養源院には、多くの貴重な宝物が伝わります。中でも、俵屋宗達(生没年不詳)の杉戸絵や障壁画が有名です。また、浅井氏の家臣という縁で、江や江と2代將軍・徳川秀忠(1579-1632)の娘で御水尾天皇に嫁いだ東福門院和子(1607-78)に取り立てられた呉服商が雁金屋です。雁金屋の次男として生まれたのが、宗達に私淑し、琳派の絵師として日本美術史を代表する絵師・尾形光琳(1658-1716)でした。本講座では、浅井長政450回忌特別展開催を記念して、琳派の研究者として知られる安田篤生氏を講師に招き、養源院と琳派に関するご講演をいただきます。

お申し込みについて

受付期間：令和4年(2022) **7月17日(日)** 午前**9時**から

申込み：長浜城歴史博物館友の会事務局にお電話をおかけいただくか、博物館受付にてお申込みください。

定員：先着150名(人数に達し次第受付を締め切ります)

・長浜城歴史博物館友の会事務局

☎ **0749-63-4611**

番号をおかけ間違いのないようにお願いします

※聴講にあたり、主催者に対応(合理的配慮)を求めることがある場合は、事前にご相談ください。

※新型コロナウイルスの感染防止のため、開催を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。